

2027年3月期 第1四半期決算説明資料

2026/8/6

東証プライム 3676

<https://www.digitalhearts-hd.com/>

2027年3月期第1四半期 エグゼクティブサマリー

【セグメント別業績に関する注意事項】

- ・各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載。
セグメント利益は営業利益ベースの数値を記載。
- ・27/3期1Qよりセグメント区分を変更。
そのため、26/3期のセグメント別業績は、変更後の数値に組み替えて記載、比較を実施。

DHグループ事業が、国内デバッグの好調維持やM&A効果等により連結全体の売上成長をけん引
AGESTグループ事業では、AI活用のセキュリティ新サービス開発等のチャレンジを加速

売上高

9,847百万円

(対前期増減率 +5.0%)

営業利益

624百万円

(対前期増減率 Δ 11.7%)

親会社株主に帰属する四半期純利益

358百万円

(対前期増減率 Δ 22.7%)

決算ポイント

- **DHグループ事業**は、既存事業の堅調な売上成長に、北米子会社HUWIZ SOLUTIONS INC.の新規連結効果が加わり、**2桁増収**を達成
- 主力の国内デバッグにおいてNintendo Switch 2向け受注が高水準で推移し、**DHグループ事業は増益トレンドを継続**
- ERP大型案件の終了や事業環境の急変による受託開発案件の縮小等の影響を受け、AGESTグループ事業は**減収**となり、**セグメント損益も一時的に悪化**
- **株式会社SandboxがMBOの一環として当社普通株式に対する公開買付けを開始**、当社も本件に賛同し、応募を推奨することを2026年8月6日開催の取締役会で決議
- 株式会社Sandboxによる当社の普通株式に対する公開買付けが成立することを条件に、**2027年3月期の配当を実施しないこと及び2027年3月期より株主優待制度を廃止**することを決議

DHグループ事業

株式会社IMAGICA GEEQから
ゲームデバッグ事業を譲受

IMAGICA
GEEQ

(株)IMAGICA GEEQのゲームデバッグ事業の特徴

- ・ゲームデバッグ分野で**10年以上**の実績
- ・在職5年以上のベテランをはじめとするデバッガーが**500名以上**在籍
- ・ISTQB(*)ゴールドパートナー認定を取得



デバッグの受注キャパシティを拡大

AGESTグループ事業

米国のLazarus Enterprises, Inc.と
自律型AIサイバーセキュリティ
プラットフォームの共同開発を開始

 LAZARUS

共同開発の内容

- ・Lazarus社の有する**エージェントAIツール“Clearwing”**を活用した、高度な脆弱性ハンティング等を開発
- ・オンプレミス利用による高額なトークン料金負担の軽減等、**従来にはないモデル**を構築

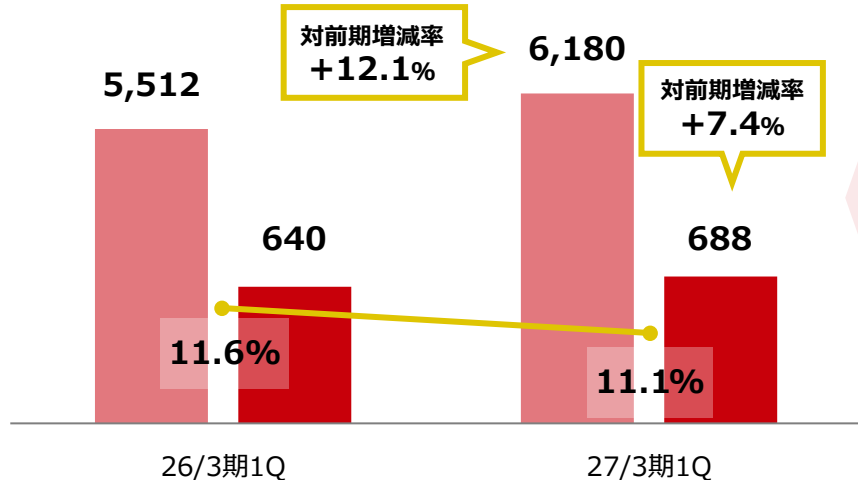


一部機能のPoCを2026年7月末から開始

国内デバッグが好調を継続するとともに、
グローバル及びその他で着実な成長を達成したことで、2桁増収及び増益を達成

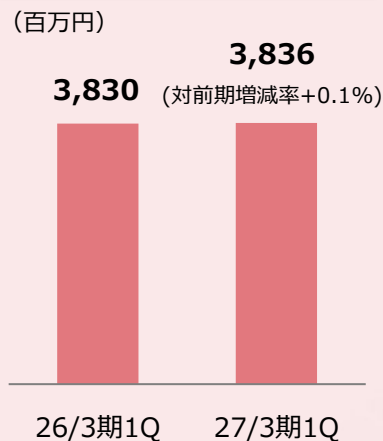
■DHグループ事業 実績

(百万円) ■ 売上高 ■ セグメント利益 ● セグメント利益率

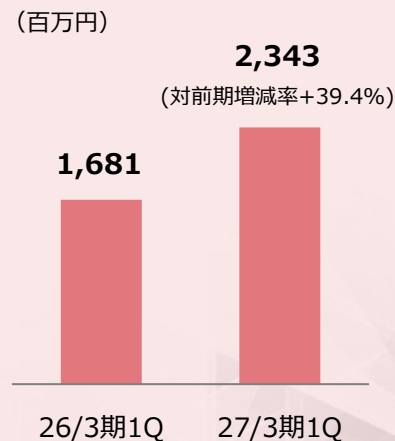


【サービス別売上高推移】

国内デバッグ売上高



グローバル及びその他
売上高



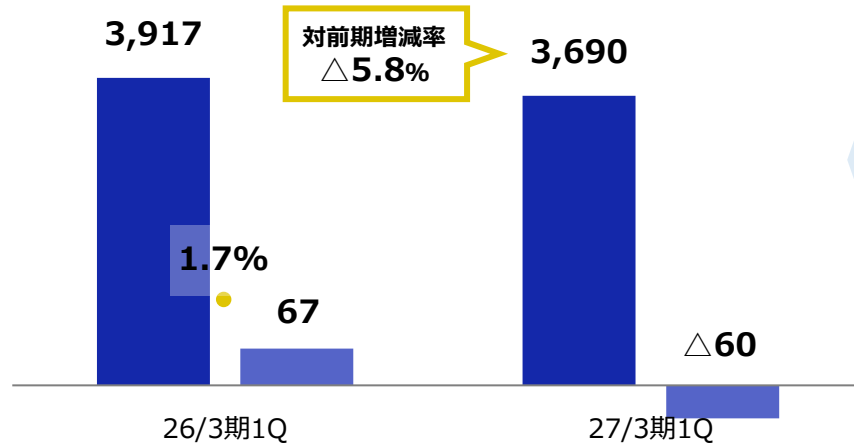
■決算ポイント

- **国内デバッグ**において、Nintendo Switch 2向け新規タイトル案件等を着実に獲得し、**好調だった前期と同水準の売上を維持**
- 注力事業である**グローバル及びその他で前期比+39%の増収**を達成
 - ・ゲームタイトルの世界同時発売が増加する中、北米グループ企業との連携強化もあり翻訳・LQAが伸長
 - ・2025年11月20日付で連結子会社化したHUWIZ SOLUTIONS INC.の業績が寄与
- セグメント利益は、両サービスともに売上が拡大したことにより、**前期比+7%増益**を達成

ERPの大型案件終了や業界環境変化による受託開発の縮小の影響大きく、減収及び収益性が低下
成長軌道への回帰に向け、エンジニア数に依存しない新たなビジネスモデル構築に注力

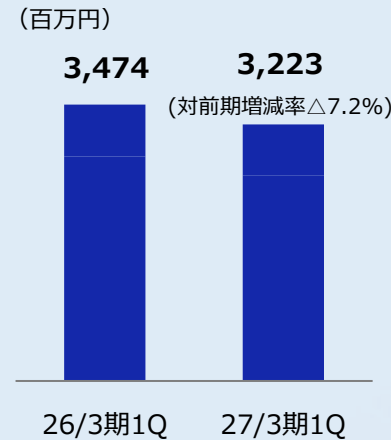
■AGESTグループ事業 実績

(百万円) ■ 売上高 ■ セグメント損益 ● セグメント利益率

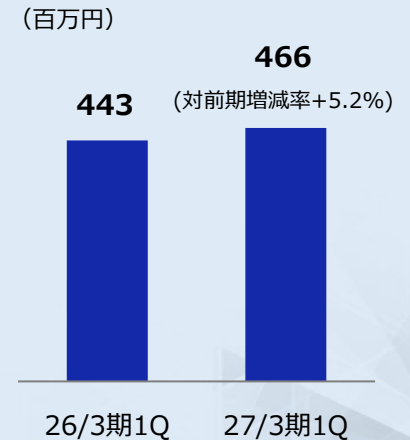


【サービス別売上高推移】

QAソリューション
売上高



ITサービス及びその他
売上高



■決算ポイント

- **QAソリューション**は、主力のシステムテストは前期並みを維持したものの、ERPの**大型案件終了**やAIによる事業環境の変化等を背景に**受託開発が縮小**した影響により減収
- **ITサービス及びその他**は、前期一時的に縮小していた**セキュリティ監視が回復基調**に転じたことで、増収を達成
- セグメント利益は、**QAソリューションの減収に伴う収益性の低下**等より大幅減益
- 前期にローンチした独自のAIテストツール“TFAC”や脆弱性を可視化するセキュリティ管理ツール“SBOM Archi”の営業を強化するとともに、米国企業と自律型AIサイバーセキュリティプラットフォーム**“AGEST ZERO SHIELD”**の共同開発を開始するなど、**技術に特化したソリューションを強化**

株式会社SandboxがMBOの一環として当社普通株式に対する公開買付けを開始
当社も本件に賛同し、応募を推奨することを2026年8月6日開催の取締役会で決議

■ 2026年8月6日 当社取締役会決議内容の概要

- ・ 本公開買付けに賛同の意見を表明
- ・ 当社の株主の皆様が本公開買付けに応募することを推奨
- ・ 本公開買付けが成立することを条件とした配当予想の変更(無配)及び株主優待制度の廃止

■ 本公開買付けの概要

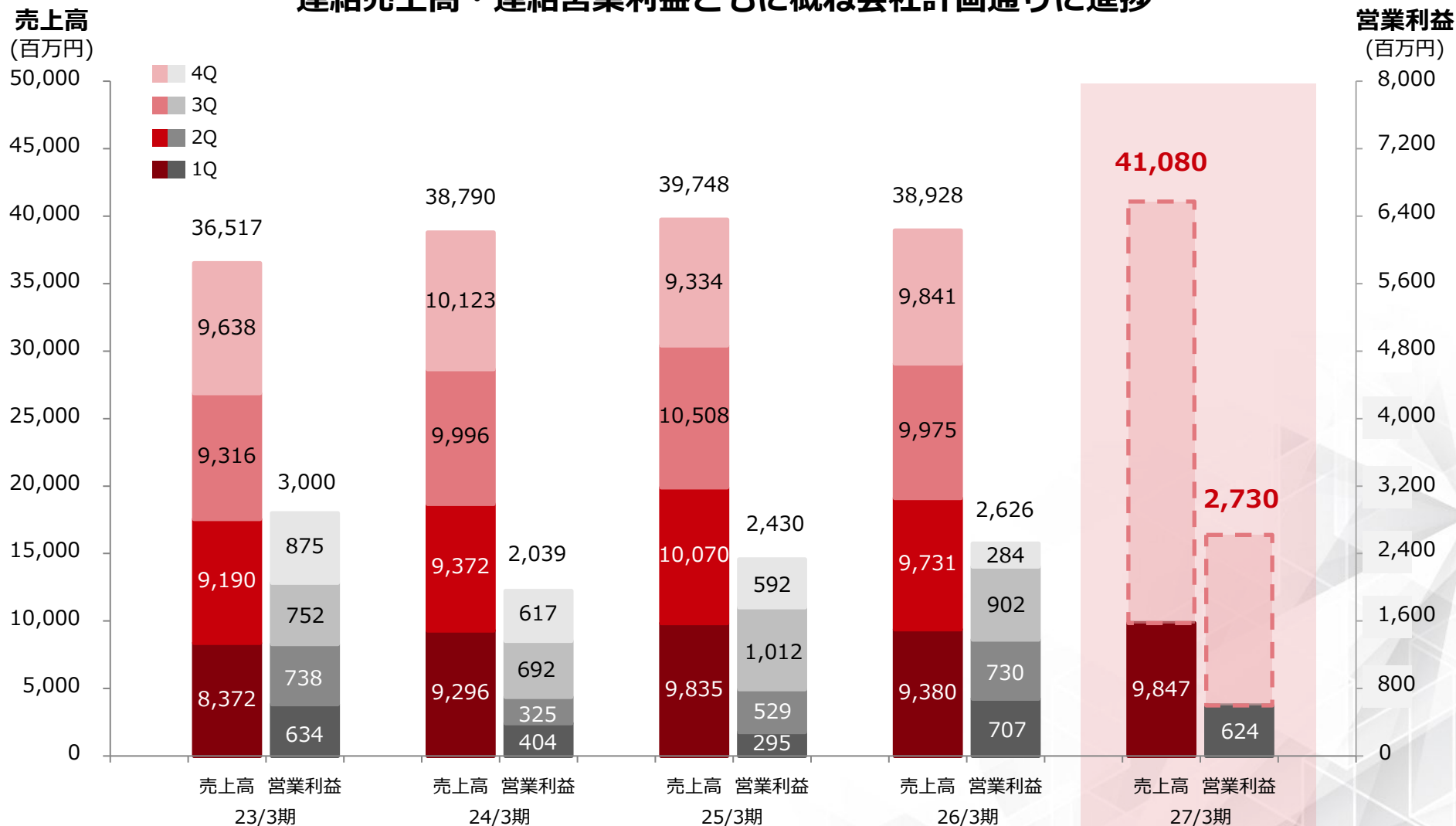
公開買付者	株式会社Sandbox - 当社の代表取締役会長である宮澤栄一が発行済株式のすべてを保有 - 当社株式の取得及び所有を主たる目的として、2026年7月13日に設立
買付け等の価格	普通株式1株につき1,060円
買付予定数	上限：なし 下限：5,922,743株
公開買付期間	2026年8月7日(金)～2026年9月24日(木) [31営業日]

2027年3月期第1四半期 連結業績

- 好調を維持した国内デバッグ売上にM&Aの効果も加わり、連結売上高で増収を実現
- AGESTグループ事業の減収に伴う収益性の低下の影響等を受け、連結営業利益、経常利益、四半期純利益は減益

(百万円)	26/3期1Q	27/3期1Q	増減額	前期比
売上高	9,380	9,847	+466	+5.0%
売上原価	6,854	7,249	+395	+5.8%
原価率	73.1%	73.6%		+0.6ポイント
売上総利益	2,526	2,597	+71	+2.8%
販管費	1,818	1,972	+154	+8.5%
営業利益	707	624	△83	△11.7%
営業利益率	7.5%	6.3%		△1.2ポイント
経常利益	706	562	△143	△20.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	463	358	△105	△22.7%
EBITDA	902	891	△11	△1.3%

AGESTグループ事業がやや会社想定を下回るも、DHグループ事業が好調に推移し、
連結売上高・連結営業利益ともに概ね会社計画通りに進捗



2027年3月期第1四半期 連結貸借対照表



DIGITAL HEARTS HLDGS.

(百万円)	26/3期(期末)	27/3期(1Q末)	増減額(対前期末)
資産合計	21,531	21,351	△180
流動資産	14,031	13,888	△142
現金及び預金	7,132	6,544	△587
固定資産	7,500	7,463	△37
有形固定資産	1,620	1,562	△57
無形固定資産	2,770	2,792	+22
のれん	1,790	1,736	△53
投資その他の資産	3,109	3,107	△2
負債合計	11,570	11,166	△403
流動負債	11,187	10,778	△409
短期借入金	5,672	5,873	+200
固定負債	382	387	+5
純資産合計	9,961	10,185	+223
株主資本	8,517	8,574	+57
その他の包括利益累計額	1,112	1,290	+177
非支配株主持分	331	320	△11
負債・純資産合計	21,531	21,351	△180

セグメント別実績及び通期連結業績予想

【セグメント別業績に関する注意事項】

- ・各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載。
セグメント利益は営業利益ベースの数値を記載。
- ・27/3期1Qよりセグメント区分を変更。
そのため、26/3期のセグメント別業績は、変更後の数値に組み替えて記載、比較を実施。

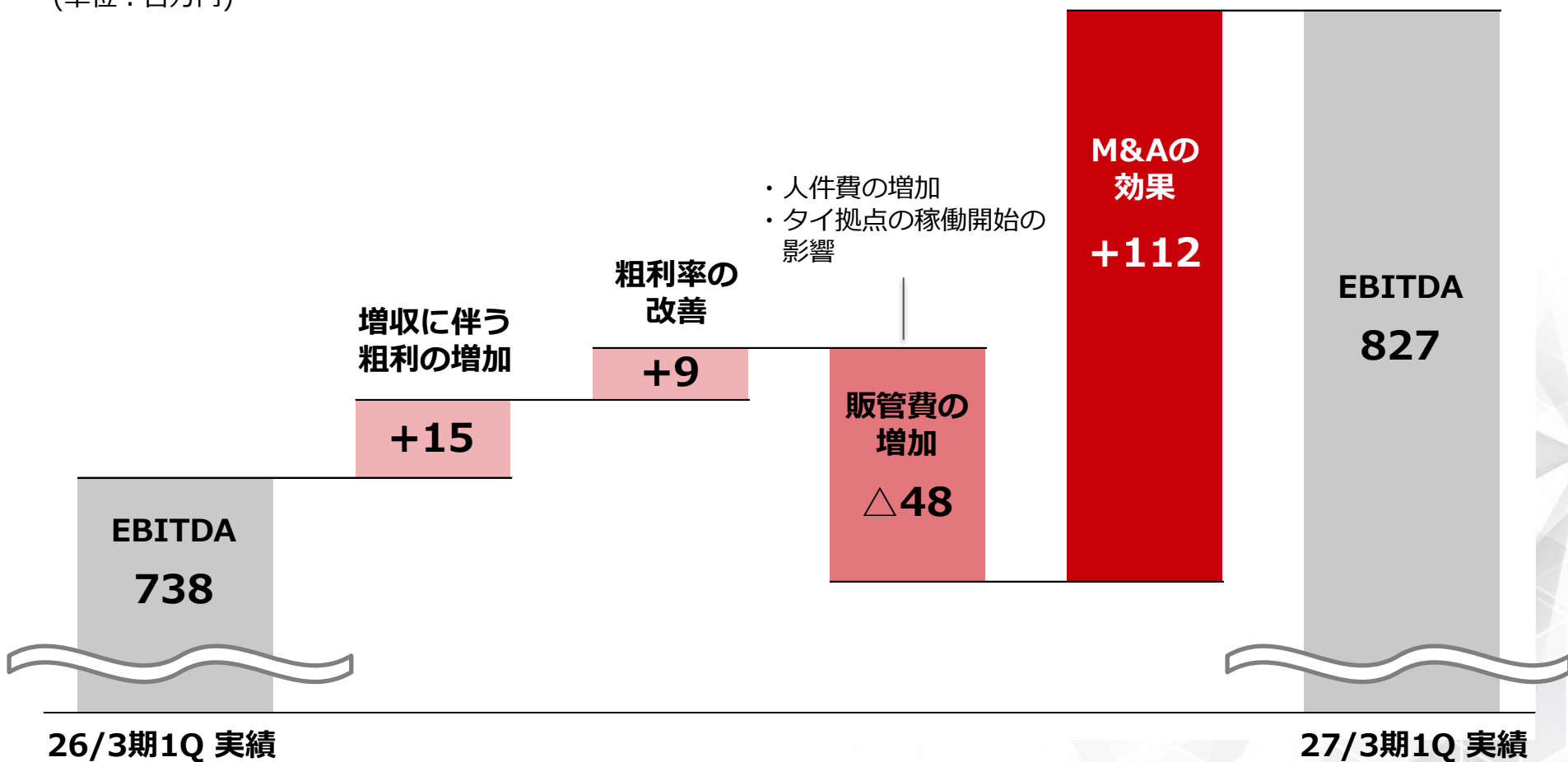
(百万円)	前期実績 26/3期1Q	当期実績 27/3期1Q	前期比
売上高	9,380	9,847	+5.0%
DHグループ	5,512	6,180	+12.1%
AGESTグループ	3,917	3,690	△5.8%
CVC関連事業	—	—	—
調整額	△49	△23	—
営業利益	707	624	△11.7%
DHグループ	640	688	+7.4%
AGESTグループ	67	△60	—
CVC関連事業	—	△2	—
EBITDA	902	891	△1.3%
DHグループ	738	827	+12.0%
AGESTグループ	163	66	△59.5%
CVC関連事業	—	△2	—

- Nintendo Switch 2向け新規タイトルの案件等を着実に獲得することで、**国内デバッグ**で好調だった前期と同水準の売上高を確保
- 前期に子会社化した北米のHUWIZ SOLUTIONS INC.の業績寄与の影響もあり、**グローバル及びその他**で前期比約1.4倍と大幅増収を達成
- 両サービスともに増収を達成したことにより、**セグメント売上高は前期比+12%と2桁増収、セグメント利益は前期比+7%増益を達成**

(百万円)	前期実績 26/3期1Q	当期実績 27/3期1Q	増減率
売上高	5,512	6,180	+12.1%
国内デバッグ	3,830	3,836	+0.1%
グローバル及びその他	1,681	2,343	+39.4%
セグメント利益	640	688	+7.4%
EBITDA	738	827	+12.0%

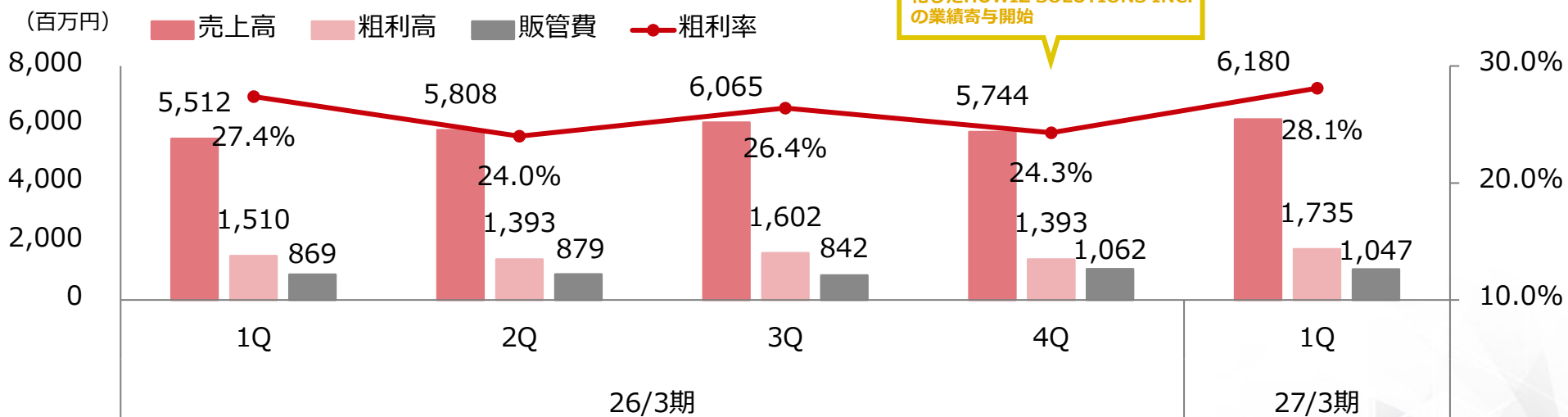
国内デバッグや翻訳・LQAといった既存事業の売上拡大、粗利率の改善に加えて
新規グループ入りした北米子会社の貢献もあり、EBITDAは前期比+12.0%の大幅増益を達成

(単位：百万円)

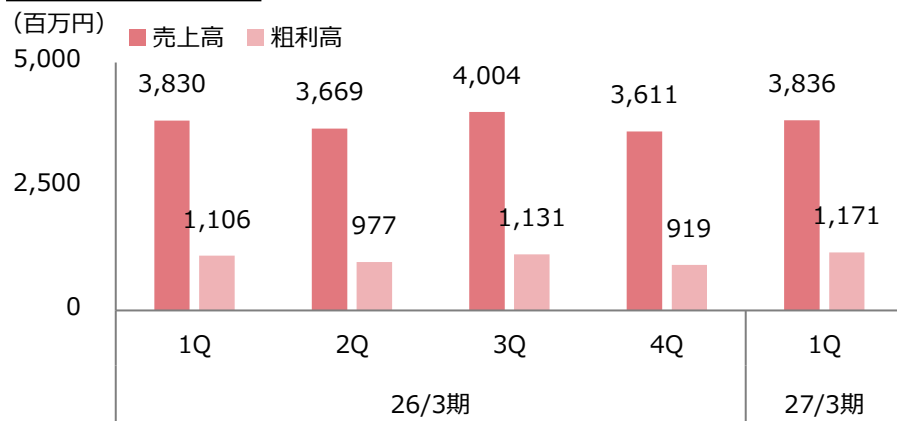


業績推移

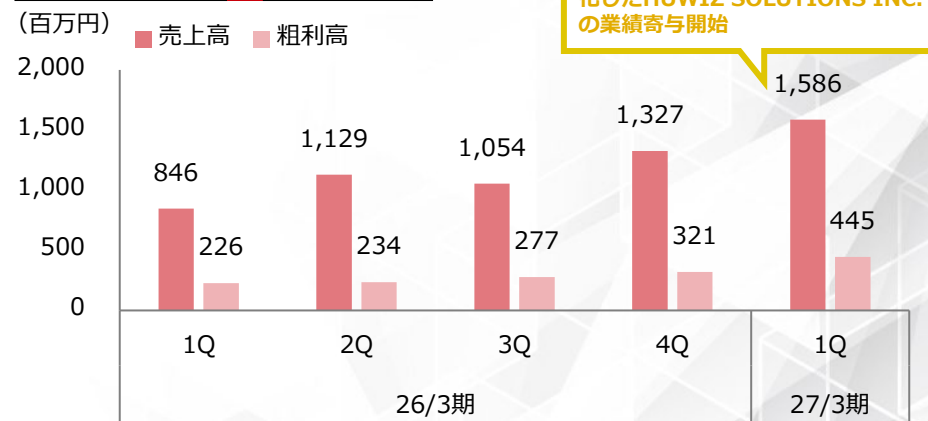
DHグループ事業全体



国内デバッグ

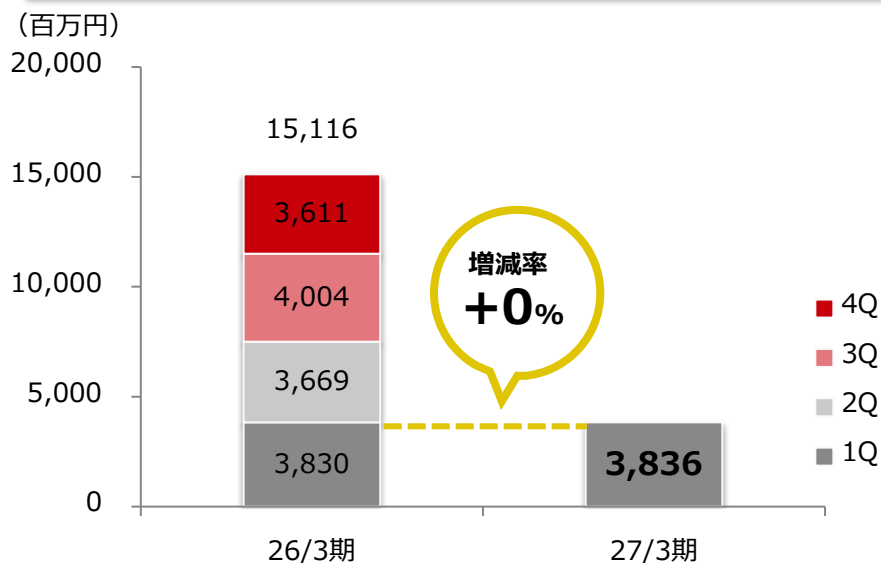


グローバル(*)サービス

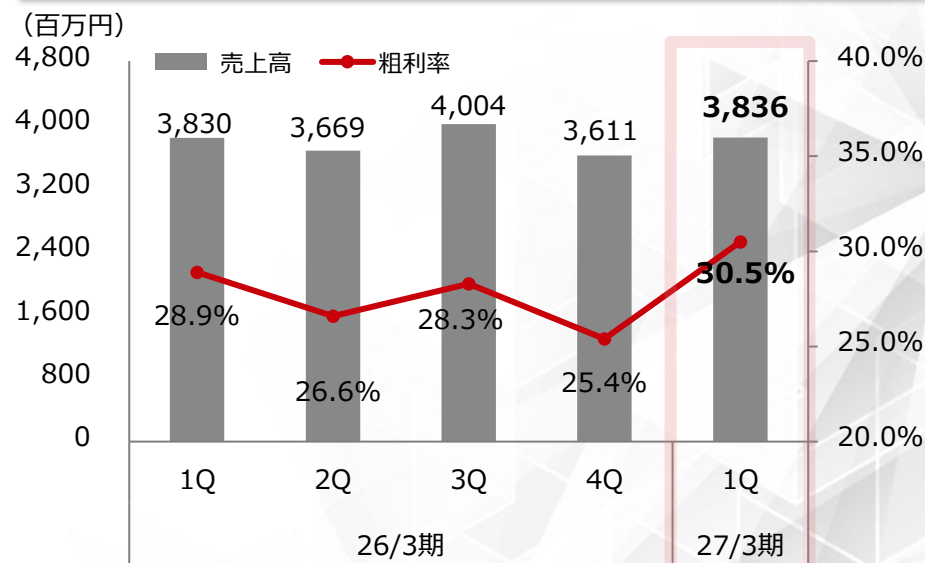


- Nintendo Switch 2の発売を機とした旺盛な需要を着実に取り込み、**好調だった前期と同水準の売上高を維持**
- 稼働率及び受注単価の改善により、**粗利率は30.5%と高水準を達成**
- 株式会社IMAGICA GEEQからゲームデバッグ部門を譲り受ける事業譲渡契約を締結するなど、**質・量の両面からサービス提供力を強化**

売上高推移

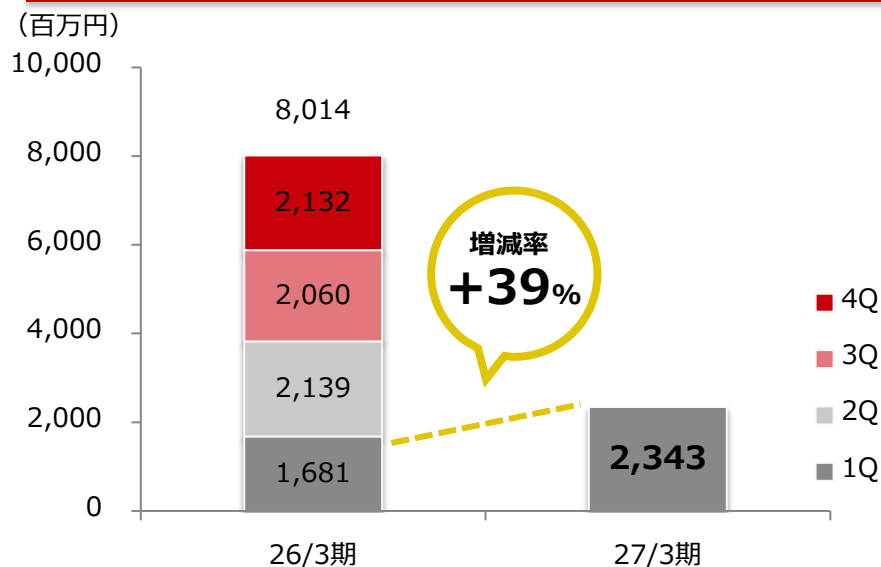


売上高・粗利率推移

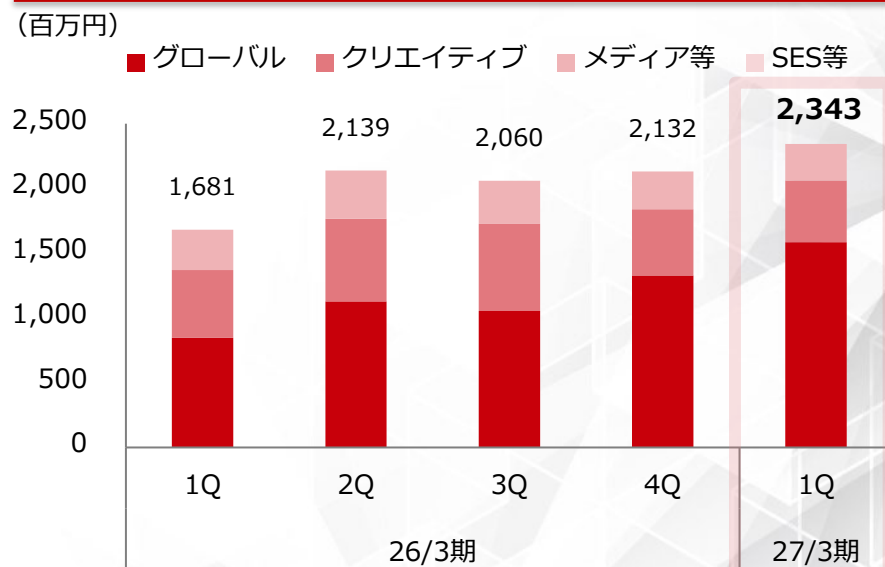


- 注力事業である**翻訳・LQA**で新規案件を着実に獲得するとともに、前期子会社化した北米の**HUWIZ SOLUTIONS INC.**の業績寄与より、グローバル及びその他全体で**前期比約1.4倍の大幅増収**を達成
- **グローバル領域における事業を統括する部署を新設**し、グループ子会社間やアライアンスパートナーとの連携強化等、成長戦略を強力推進

売上高推移



サービス別売上高推移

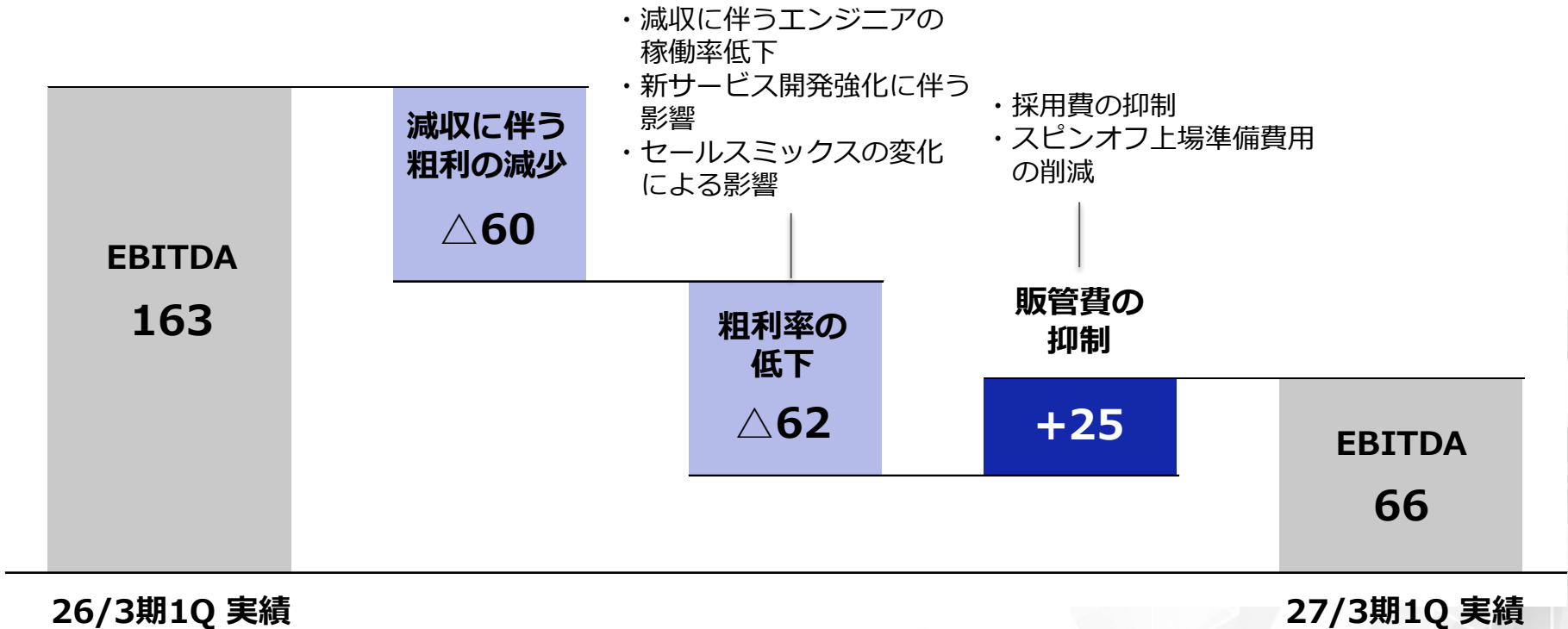


- **主力のシステムテストは前期並みを維持**するも、ERPの大型案件終了やAI等による事業環境の変化に伴う受託開発の縮小の影響大きく、QAソリューション全体として減収
- ITサービス及びその他は、前期一時的に縮小していた**セキュリティ監視が回復基調**に転じたことで、増収を実現
- セグメント利益は、QAソリューションの減収に伴う収益性の低下等により、大幅減益
- 前期にローンチした独自のAIテストツール**“TFACT”**や脆弱性を可視化するセキュリティ管理ツール**“SBOM Archi”**の営業を強化するとともに、米国企業と自律型AIサイバーセキュリティプラットフォーム**“AGEST ZERO SHIELD”**の共同開発を開始するなど、**技術に特化したソリューションを強化**

(百万円)	前期実績 26/3期1Q	当期実績 27/3期1Q	増減率
売上高	3,917	3,690	△5.8%
QAソリューション	3,474	3,223	△7.2%
ITサービス及びその他	443	466	+5.2%
セグメント損益	67	△60	—
EBITDA	163	66	△59.5%

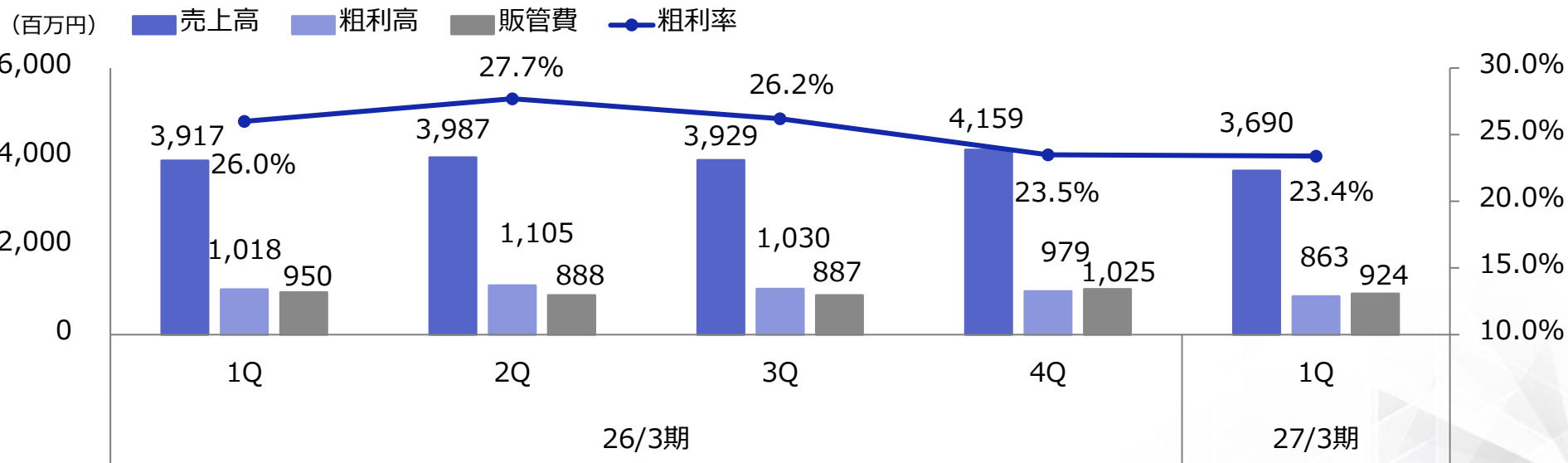
QAソリューションの減収に伴う粗利率低下の影響大きく、 EBITDAは前年を下回る水準に

(単位：百万円)



AGESTグループ事業

業績推移



QAソリューション KPI

受注顧客数(*)

26/3期1Q

734社

27/3期1Q

773社

受注顧客数増減内訳

国内 +74社

海外 △35社

年間平均顧客単価(*)

26/3期1Q

19百万円

27/3期1Q

16百万円

エンジニア数

26/3期1Q

1,083名

27/3期1Q

1,053名

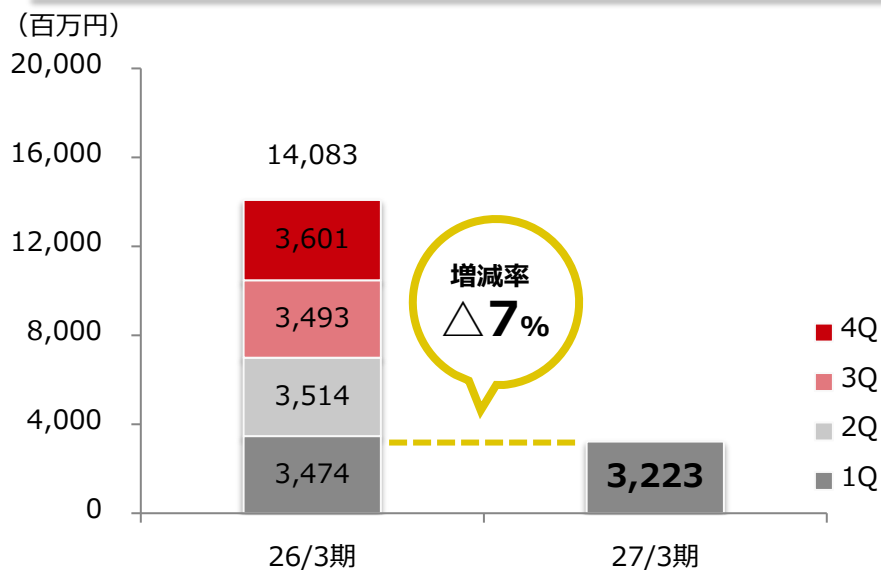
エンジニア数増減内訳

国内 +5名

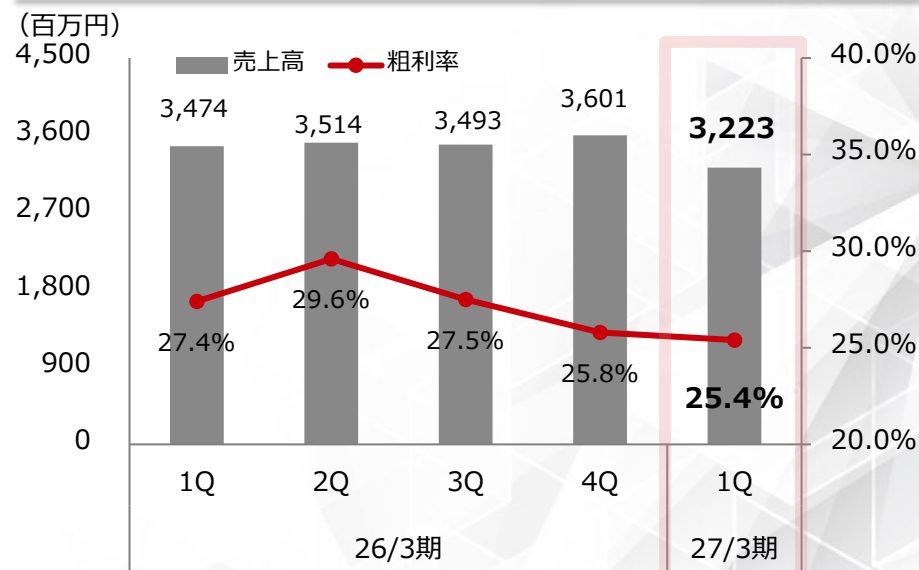
海外 △35名

- 主力のシステムテストは前期並みの売上を維持するも、ERPの大型案件終了やAI等による事業環境の変化に伴う受託開発の縮小の影響大きく、減収
- 減収に伴うエンジニアの稼働率低下や新サービス開発強化等の影響により、粗利率は一時的に低下
- 前期ローンチした独自のAIテストツール“TFACT”のセールスを強化するなど、エンジニア数に依存しない新たな収益モデルの構築に注力

売上高推移

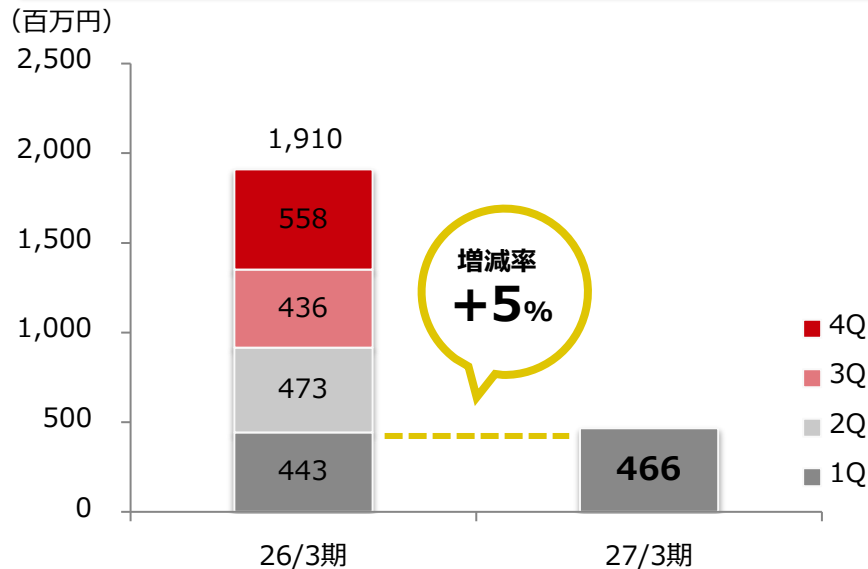


売上高・粗利率の推移

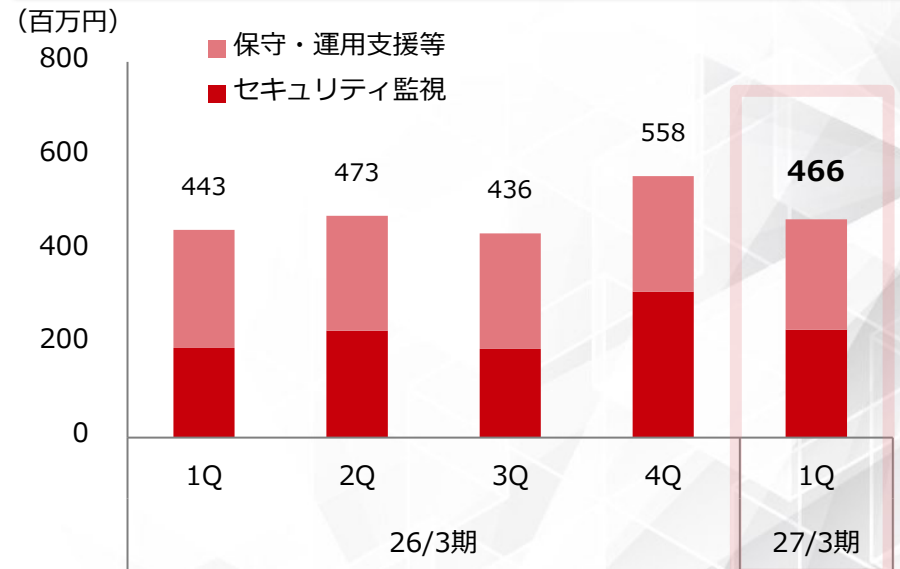


- 保守・運用支援等、一部の低収益サービスの**戦略的な縮小**を継続
- 一部ベンダーのエンドポイントセキュリティ端末の商材値上げの影響等により縮小傾向にあった**セキュリティ監視サービス**が、**当期から回復基調**へ
- 2026年1月にローンチした**SBOM^(*)管理ツール**は、セキュリティ法整備等を追い風に好調にスタート
- 米国企業と**自律型AIサイバーセキュリティプラットフォーム“AGEST ZERO SHIELD”**の**共同開発**を開始

売上高推移



サービス別売上高推移



- AIの急速な進展により業界構造や事業モデルが大きく変化しつつある中、当社にはない技術・アイデア・ビジネスモデルやイノベーター人材等の獲得が期待できる企業への投資を積極化するため、**新たにCVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)部門を立ち上げ**
- 当期1Qは、新設部門の販管費のみ計上
- 国際高齢者デーである2026年10月1日に、昨年につき、シニア向けeスポーツ全国大会「**GeeSPORTS^(*) JAPAN CHAMPIONSHIP 2026**」の開催を決定

* GeeSPORTS… “GrandParents” “Exciting” “Empower”の頭文字をとって名付けた独自のワードであり、「シンプルなお操作」「声を掛け合う」「誰もが楽しめる」をコンセプトとした、多世代融合型eスポーツのことを指す

(百万円)	前期実績 26/3期1Q	当期実績 27/3期1Q	増減率
売上高	—	—	—
セグメント利益	—	△2	—
EBITDA	—	△2	—

2027年3月期 通期連結業績予想

*2026年5月13日付「2026年3月期 決算説明資料」から抜粋して再掲

- 事業モデルの転換を進めるAGESTグループで前期並みの売上を維持しつつ、引き続き好調な市場環境を追い風にDHグループが全体業績をけん引し、**過去最高の連結売上高更新**を目指す
- 両事業ともに**AIをはじめとする成長投資を積極化**しつつも、増収効果やAGESTグループ事業の収益性改善により、**営業増益**を目指す
- 当期純利益は、**過去最高となる18億円**を計画、26/3期の特別損失の反動もあり前期比1.5倍へ

(百万円)	26/3期 実績	27/3期 予想	前期比
売上高	38,928	41,080	+5.5%
DHグループ	23,130	25,380	+9.7%
AGESTグループ	15,994	15,700	△1.8%
CVC関連	—	—	—
調整額	△196	—	—
営業利益	2,626	2,730	+4.0%
DHグループ	2,245	2,270	+1.1%
AGESTグループ	380	530	+39.3%
CVC関連	—	△70	—
営業利益率	6.7%	6.6%	△0.1ポイント
経常利益	2,582	2,730	+5.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,181	1,850	+56.6%



AI時代に勝てる事業基盤の構築に注力

DHグループ事業



AI時代にこそ求められる “エンタメ品質”を世界へ

- 引き続き**Nintendo Switch 2向けタイトル**のデバッグ案件獲得に注力
- 26/3期に子会社化したHUWIZ社や新たに業務提携を開始した海外企業との連携強化により、**グローバルクライアントの獲得に注力**
- AI協働型オペレーション基盤“HumanOps OS”の導入により**デスターの生産性向上**及び**受注キャパシティ拡大**を推進

AGESTグループ事業



AI技術を最大活用した QA/セキュリティモデルへの進化

- AIテストツール“TFACT”や脆弱性リスクを可視化する“SBOM Archi”のライセンス販売強化により、**エンジニア数に依存しない新たな収益基盤の構築を推進**
- AI開発の黎明期における最適なAI活用に関するコンサルニーズの高まりを受け、**エンジニアのリスキングを強化**
- スピンオフ上場方針取り下げに伴う**バックオフィス機能のスリム化**及び**AI活用による業務効率化**を推進

CVC関連事業

既存事業と異なる市場や領域への進出・投資を スピーディに実行

- 当社にはない技術・アイデア・ビジネスモデルやイノベーター人材等の獲得が期待できる企業へ、**年間5億円を目途に投資**
- 27/3期より、“**CVC関連事業**”として新しい開示セグメント区分を設定

■ 27/3期以降の開示セグメント

DHグループ事業
国内デバッグ
グローバル及びその他
AGESTグループ事業
QAソリューション
ITサービス及びその他
CVC関連事業
調整額



参考資料

当社グループの
ミッション

SAVE the DIGITAL WORLD

マクロ環境

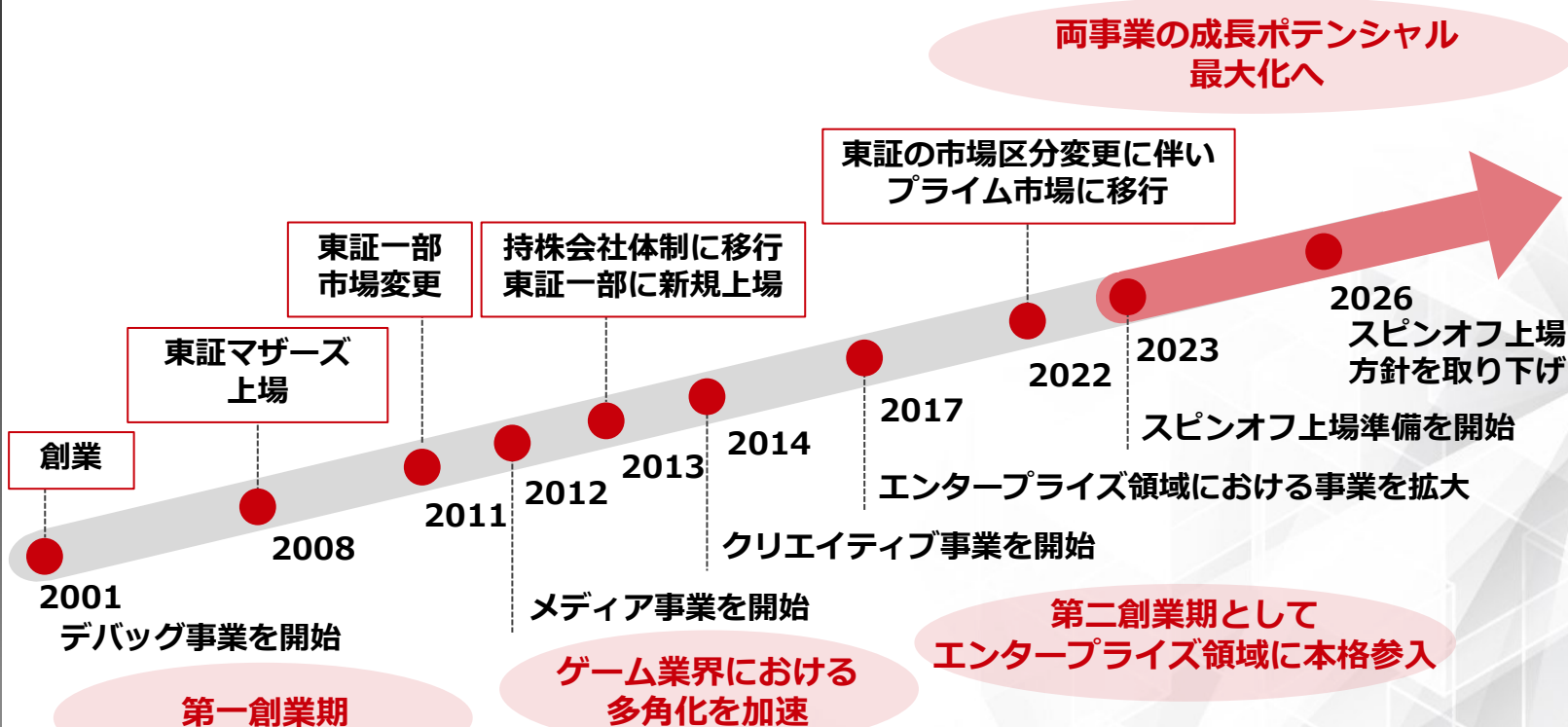
コンソールゲームの
隆盛

モバイルゲームの
隆盛

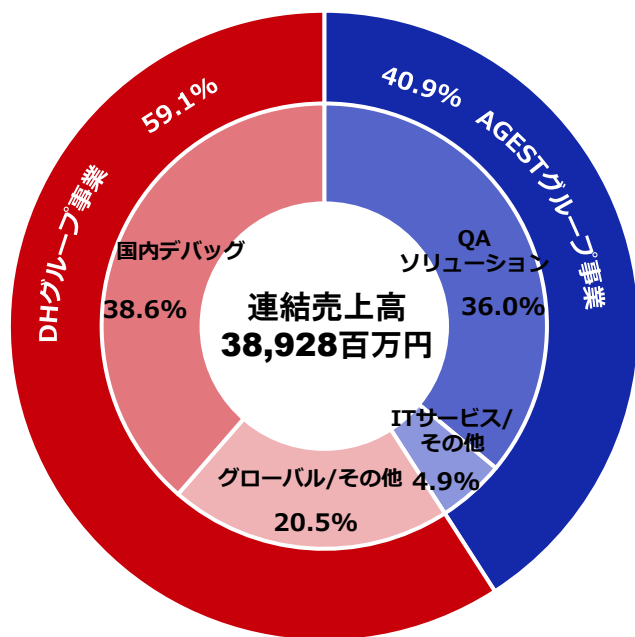
IoT/DXの進展

AIの進展

当社グループの
沿革



ソフトウェアの不具合を検出するデバッグ・QA(Quality Assurance)が主力



2026年3月期売上高構成比

* 売上構成比は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて算出

DHグループ事業	国内デバッグ	38.6%	➢ コンソールゲーム / モバイルゲームの検証
	グローバル/その他	20.5%	➢ ゲームの翻訳・LQA(*1) ➢ マーケティング支援 ➢ ゲーム開発、2D/3Dグラフィック制作 ➢ 総合ゲーム情報サイト“4Gamer.net”の運営
AGESTグループ事業	QAソリューション	36.0%	➢ Webシステムや業務システム等の検証 ➢ テスト自動化支援 ➢ セキュリティテスト ➢ ERP導入支援 ➢ システムの受託開発
	ITサービス/その他	4.9%	➢ セキュリティ監視 ➢ 保守・運用支援



(2026年6月30日現在)

DHグループ事業

株式会社デジタルハーツ

国内企業向けゲームデバッグ・ローカライズ等

DIGITAL HEARTS CROSS Group

マーケティング支援

DIGITAL HEARTS (Shanghai) Co., Ltd.

ゲームデバッグ・ローカライズ等

DIGITAL HEARTS Seoul Co., Ltd.

ゲームの翻訳・マーケティング支援等

Digital Hearts Linguitronics Taiwan Co., Ltd.

ゲームの翻訳等

JetSynthesys Digital Services Private Limited

海外クライアント向けゲームデバッグ

HUWIZ SOLUTIONS INC.

海外クライアント向けゲームデバッグ

株式会社フレイムハーツ

ゲーム開発支援・2D/3Dグラフィック制作支援

Aetas株式会社

日本最大級の総合ゲーム情報サイト“4Gamer.net”の運営等

AGESTグループ事業

株式会社AGEST

システムテスト、サイバーセキュリティ等

AGEST Vietnam Co., Ltd.

システムテスト、システム開発支援

LOGIGEAR CORPORATION

システムテスト、テスト自動化支援

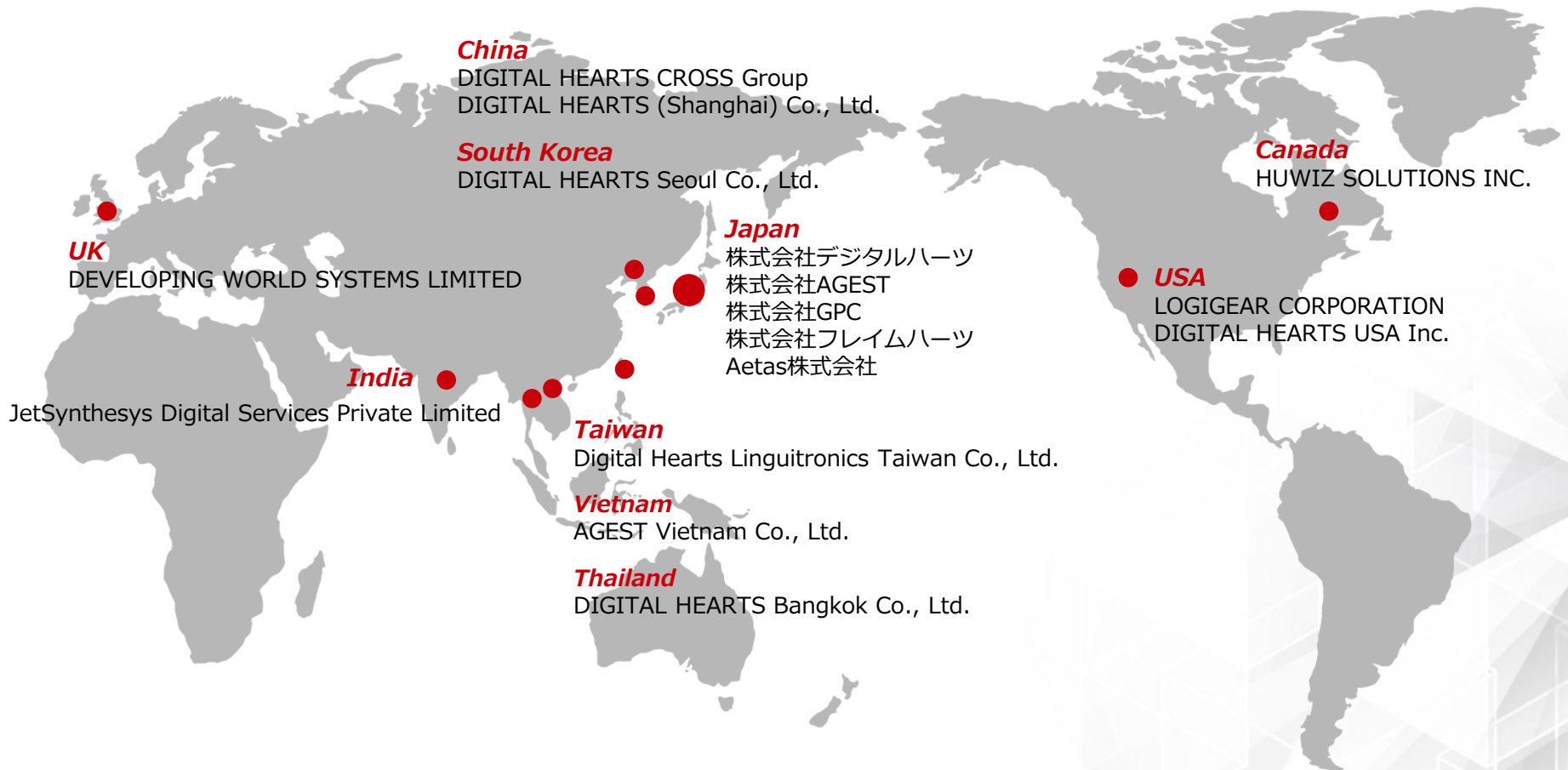
DEVELOPING WORLD SYSTEMS LIMITED

Oracle製品の導入支援、保守・運用支援等

株式会社GPC

SAP/ERP導入支援、オープン系システム開発等

(2026年6月30日現在)





(百万円)	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期 (旧基準)	24/3期 (新基準)	25/3期	26/3期
売上高	19,254	21,138	22,669	29,178	36,517	38,790	38,790	39,748	38,928
DHグループ事業 (旧:エンターテインメント事業)	15,951	16,115	15,647	17,687	19,815	19,180	23,488	23,906	23,130
AGESTグループ事業 (旧:エンタープライズ事業)	3,302	5,022	7,021	11,491	16,840	19,714	15,975	16,158	15,994
調整額	-0	-	-	-	-138	-105	-674	-316	-196
営業利益	1,605	1,394	1,908	2,696	3,000	2,039	2,039	2,430	2,626
DHグループ事業 (旧:エンターテインメント事業)	3,086	2,964	3,077	3,668	4,214	3,325	1,734	1,941	2,245
AGESTグループ事業 (旧:エンタープライズ事業)	-226	-67	188	645	639	423	305	488	380
調整額	-1,254	-1,503	-1,356	-1,616	-1,853	-1,709	-	-	-
営業利益率	8.3%	6.6%	8.4%	9.2%	8.2%	5.3%	5.3%	6.1%	6.7%
DHグループ事業 (旧:エンターテインメント事業)	19.3%	18.4%	19.7%	20.7%	21.3%	17.3%	7.4%	8.1%	9.7%
AGESTグループ事業 (旧:エンタープライズ事業)	-	-	2.7%	5.6%	3.8%	2.1%	1.9%	3.0%	2.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,575	792	974	1,778	799	176	176	629	1,181
総資産	9,832	10,637	14,338	17,610	19,581	21,103	21,103	19,949	21,531
流動資産	7,403	7,453	9,744	10,392	12,528	13,526	13,526	14,069	14,031
現金及び預金	4,197	3,739	5,076	5,208	6,456	6,858	6,858	7,593	7,132
固定資産	2,428	3,183	4,593	7,217	7,052	7,576	7,576	5,880	7,500
のれん	481	1,027	2,467	4,588	3,468	2,313	2,313	1,035	1,790
負債合計	4,819	5,198	8,024	10,044	10,107	12,250	12,250	10,688	11,570
有利子負債	2,272	2,553	4,797	5,590	5,127	7,133	7,133	5,249	5,771
純資産合計	5,012	5,438	6,314	7,566	9,474	8,852	8,852	9,260	9,961
自己資本	4,791	4,922	5,691	6,991	8,806	8,415	8,415	8,953	9,630
自己資本比率	48.7%	46.3%	39.7%	39.7%	45.0%	39.9%	39.9%	44.9%	44.7%
ネットキャッシュ	1,924	1,186	278	-382	1,328	-275	-275	2,343	1,360
D/Eレシオ (倍)	0.5	0.5	0.8	0.8	0.6	0.8	0.8	0.6	0.6
営業CF	889	1,086	1,416	3,077	2,850	1,759	1,759	3,119	3,224
投資CF	62	-1,018	-1,813	-2,537	-1,903	-2,369	-2,369	-5	-3,724
財務CF	-693	-515	1,730	-546	141	934	934	-2,555	-92
ROE	38.6%	16.3%	18.4%	28.0%	10.1%	2.1%	2.1%	7.2%	12.7%
配当性向	18.0%	38.6%	31.0%	18.2%	57.5%	264.5%	264.5%	81.4%	47.2%

*当社は25/3期より開示セグメントを変更しております。

そのため、上記一覧のセグメント別実績の23/3期以前は、旧開示セグメントに基づく数値にて記載しております。

主なリスク

当社の取り組み

1. 機密情報の漏洩

- ・テストルームへの私物持ち込み禁止
- ・指紋認証入室/監視カメラの設置等物理的なセキュリティ対策
- ・登録テスター全員を対象とする身元保証人制度の導入

2. AI等の技術革新による既存サービスの陳腐化

- ・テスト自動化やAI活用等、最新技術への対応を推進
- ・付加価値の向上を図るべく新サービスの開発を促進

3. 生産年齢人口の減少

- ・多様な世代/人種/バックグラウンドを持つメンバーが活躍できる社内教育体制を整備
- ・海外拠点も活用した戦略的な人材確保

4. 企業買収や新規事業の拡大

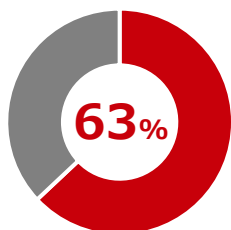
- ・綿密な市場調査やデューデリジェンスの実施
- ・買収後の適切な経営管理体制の構築によるリスク低減

(2026年6月30日現在)

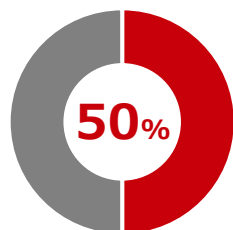
取締役会

創業者や様々な業種の企業経営経験者、公認会計士、弁護士等、多様なバックグラウンドを持つメンバーから成り、多角的な視点からのディスカッションを実施

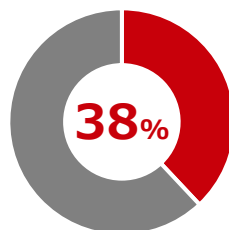
社外取締役



独立役員



女性取締役



監査等委員会

豊富な経営経験や専門的知見を有するメンバーで構成され、取締役の職務執行を監査・監督

投資委員会

M&A等一定規模の投資が発生する際、事前に審議することで適切な投資を実施

リスクマネジメント委員会

全グループ会社横断型でのリスクの洗い出し及び対応策を策定

(2026年3月31日現在)

女性管理職比率^{*1}

19.4%

全従業員に占める 外国人の割合^{*2}

11.1%

全従業員に占める 障がい者の割合^{*3}

2.9%

^{*1} 報告対象：当社及び国内外の連結子会社すべて

^{*2} 報告対象：当社及び国内連結子会社

^{*3} 報告対象：(株)デジタルハーツホールディングス、(株)デジタルハーツ、(株)AGEST

当社グループの取り組み事例とSDGsの各目標の関連

人材

日本におけるIT人材不足の解消

- ・ソフトウェアテスト技術者資格“ISTQB”取得支援制度の推進
- ・独自の教育機関「AGEST Academy」において、世界トップレベルのテストエンジニアトレーニングプログラムを提供

人材

多様な人材が活躍できる職場の実現

- ・学生やフリーター、役者・ミュージシャン等の夢を追いかけている方、障がいをもつ方といった多種多様な人材が日々3,000名以上活躍できる場の提供
- ・言語デバッグ等に従事するアジアや欧米等35カ国以上の外国籍の人材の雇用

技術

安心・安全なデジタル社会の実現

- ・独自の技術研究機関「AGEST Testing Lab.」を設立し、産学連携により常に進化するソフトウェア社会を支えるための新しいテスト技法の研究を推進
- ・AIを活用した独自のツールやソリューションの開発を推進

地域社会

地域活性化及び地方におけるIT格差の解消

- ・全国に展開するテストセンター(Lab.)や在宅勤務を活用した地方における雇用創出





用語	意味
バグ	コンピュータプログラムの誤りや欠陥、不具合のこと。
デバッグ	ゲームソフトに潜むバグをユーザー目線で検出する業務。なお、一般的にデバッグは、バグを検出し修正することを指すが、当社グループの「デバッグサービス」は、修正作業は行わず“バグを発見し報告する”ことに特化している。
QA	Quality Assurance(品質保証)の略。
LQA	Linguistic Quality Assuranceの略であり、翻訳されたテキストや構成の品質を確認すること。
シフトレフト	ソフトウェア開発において、バグや脆弱性による開発の手戻りを防ぐため、開発工程の早い段階からテストやセキュリティ対策を行うことで、開発サイクル全体の高速化と安全性を高める考え方。
シフトライト	ソフトウェアのリリース後に、ユーザーの運用状況から得られるデータ等を活用しながら、継続的に品質向上を図る手法のこと。
QA for Development	シフトレフトに対応した高付加価値型ソリューションの当社呼称。
DHQ	Digital Hearts Qualityの略で、クライアントの成功にコミットする当社独自のQAメソッドや行動指針を定義したもの。
テスター	デバッグ業務を行うスタッフのこと。(当社の呼称) ゲーム好きをはじめ、役者やミュージシャン等多種多様な人材が在籍。登録アルバイト制であり、現在約8,000名が登録している。
次世代QAエンジニア	ソフトウェア開発の知識とテストの知識両方を持ち合わせ、開発からリリース後までトータルで品質向上の最適化を実現できる最上位のQAエンジニア。
コンソールゲーム	Nintendo SwitchやPlayStation等、専用のハード機器を用いて遊ぶゲームのこと。
ウォーターフォール型開発	開発前に搭載する機能や仕様を明確に定義し、開発プロセスに沿って順番に開発を行うスタイル。「前の工程に戻れない」という前提で開発を進めるのが特徴。
アジャイル開発	開発したいシステムのスタイルを大まかに定義し、計画・設計・実装・テストといった開発工程を機能単位の小規模なサイクルで繰り返し開発を進めていく手法のこと。ウォーターフォール型開発とは異なり、「前の工程に戻る」ことを前提に開発を進めるのが特徴。



DIGITAL HEARTS HLDGS.

＜お問い合わせ先＞

IR 広報室

電話：03-3373-0081

Email：ir_info@digitalhearts.com

HPアドレス：<https://www.digitalhearts-hd.com>

本資料はインベスター・リレーションズに関わる活動（IR活動）を実施する際の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資判断の参考となる情報の提供及び投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は弊社が信頼に足ると思われる各種情報に基づいて作成しておりますが、弊社はその正確性及び完全性を保証するものではありません。また、本資料の内容は、作成時における弊社の見解または評価を示したものであり、市場環境の変化等により予告なく変更される場合があります。

また、本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。弊社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

なお、各社の会社名、サービス・製品名は各社の商標または登録商標です。